



いざというとき大丈夫か

- Q** 消防団が定員割れしているが定年を延長してはどうか。
- A** 危険を伴う仕事なので難しい。
- Q** AEDがいざというとき作動するか確認しているのか。
- A** 毎日目視で点検しているが、本体にも自動チェック機能がある。
- Q** 住居表示プレートを貼っていない家が多いが対策は。
- A** 接着剤を一緒に配るなどPRに努めた。
- Q** プレートのデザインを考慮してはどうか。
- A** 在庫がなくなったら検討する。



住民投票でどこに行くのかな

予算審査特別委員会を3月9日から11日まで開きました。
この委員会は、議長を除く議員15人で構成し、町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計を慎重に審査しました。
審査の結果、全会一致または賛成多数で可決しました。

- 税とくらし**
- Q** 庁舎移転の住民投票はいつ実施するのか。
- A** 県のJR高架事業の見直し案が出てから検討する。
- Q** 災害時要援護者は把握できているのか。
- A** 対象の方は把握している。
- Q** 生活安全指導員の仕事は。
- A** 警察官OBの方を雇用し、庁舎内でのトラブルやクレームに対応する。

- Q** ふるさと納税に今年から特典の品を送ることになったが、何を送るのか決めているのか。
- A** 1件につき3000円程度のもを送る予定。

- 健康と福祉**
- Q** 児童虐待・DV防止対策事業とはどのようなことをしているのか。
- A** 職員の研修や年1回の講演会、出産直後の啓発としてこども課や保健センターなどの電話番号が入ったマグネットを配布している。
- Q** 生活保護費給付対象の世帯数は。また、そのうち外国人世帯数は。
- A** 現在173世帯。うち外国人世帯は22世帯。



遠慮しないで電話してね

- Q** 特定健康診査の受診率と目標は。
- A** 平成26年1月末で約26パーセント。来年度は30パーセントを目標とする。
- Q** がん検診の受診率の目標は。
- A** 国の方針である50パーセントを目指している。

- Q** 窪町の住民活動センターの移転後の利用方法は。
- A** 公文書の倉庫とする。
- Q** 個人住民税が増える理由は。
- A** 景気が上向いているため。
- Q** ホームページも大切だがフェイスブックをもっと活用しては。
- A** できるだけ更新できるように努力する。



保健センターに移ります



ほとんど契約済みです

Q 中店小学校線の進み具合は。

A 平成26年度末時点で面積ベースでは83・9パーセント。

Q 駐車場の収益は出ているのか。

A 堀川駐車場で約920万円、曾田駐車場で約480万円出ている。



宿題をしています

Q 社会福祉協議会助成金の使途は。

A 人件費・福祉保健まつり・ボランティアセンター運営費・心配ごと相談など。

Q 臨時福祉給付金の申請期間と支給開始はいつか。

A 申請は7月から12月までで、10月より支給開始予定である。

教 育

Q けんみん文化祭の会場は。

A 平成27年度は海田町で実施、海田公民館を利用する。

Q ふるさと館20周年記念事業は。

A コンサート、昔にちなんだ遊び、クスノキを題材にした描画を考えている。

下 水 道

Q 下水道の普及率はどれくらいになるのか。

A 人口普及率は98・2パーセントとなる。

Q 堀川駐車場に最近取り付けた鳩対策の金具をなぜ撤去するのか。

A 国土交通省で高架橋工事をするため、撤去する必要がある。

まちづくり

Q 住宅耐震診断補助件数の実績は。

A 1件あった。

Q 木造住宅耐震改修補助の実績は。

A 1件あった。

Q 橋りょう点検の内容は。

A 46か所を近接目視検査で実施する。

Q 町営住宅の建て替えは検討しないのか。

A 長寿命化で対応していく。



子どもたちの安全を守ります

Q 小学校・中学校教育指導員の配置は。

A 小学校は各校2名ずつ、中学校は海中3名、西中1名を配置する。

Q 学校防犯カメラの映像はどこで管理されているのか。

A 職員室にモニターを各校1台設置し録画管理している。

Q タブレットを使用した指導とは。

A 教員が教材の開発や、動画を使った授業の研究を行う。



点検の結果撤去します